

【月案】9月・4歳児

今月の保育のポイント

- 夏休み明けの園生活に慣れるまでは個々の差があることを理解しておき、焦らずに子どもが生活、集団活動に入れるように、ゆったりと丁寧な援助を心がける。
- 友達や保育者との繋がりを十分に味わい、身体を動かして楽しむ遊びを取り入れる。友達や保育者と一緒に過ごして楽しいと感じる環境をつくっていく。
- 友達同士で遊びの中で自分の考えや気持ちを伝え、友達の話も聞く経験をする。自分の思ったことを積極的に話す子どもには、保育者がよく傾聴し、まだ上手く話せない子どもに対しては、自身が自分の思いを話しやすいよう、保育者が夏休みの出来事などについて聞いてみるなど、引き出すようにしていく。
- 草花を使った遊びや虫探しなど、季節の変化を体で感じ、心を動かして遊べる環境を工夫する。

月のねらい

- 友達との再会を喜び、楽しく遊ぶ。
- 季節の移り変わりに気づき、自然に興味や関心を持つ。
- 戸外で思いっきり身体を動かし、その充実感を味わう。
- 避難訓練に参加し、非常時の逃げ方や約束などを知る。
- 無理なく園生活を取り戻せるようにする。
- 友達と気持ちを伝え合う喜びを感じる。
- 秋の行事に興味を持ち、意欲的に参加したり製作したりする。
- 身体や言葉、製作等様々な方法で表現する楽しさを味わう。

週のねらい

その1

- 1週目：生活リズムを整え、健康に気をつけて過ごす（養護）
- 2週目：敬老の日のプレゼントを、心を込めて製作する（教育）
- 3週目：身近にいる様々な人と関わる楽しさを味わう（教育）
- 4週目：経験したことや思ったことを言葉で伝える（教育）

その2

- 1週目：色々な遊具や用具を使ったり、体を動かしたりする気持ちよさを味わう（教育）
- 2週目：身の回りのことや係活動を意欲的に行い、自信を持って生活する。（養護）
- 3週目：鉄棒や大なわとびなど、様々な運動遊びに挑戦する。（教育）
- 4週目：夏から秋の自然の変化に気づき、自然物を見たり触れたりして興味や関心をもつ（教育）

その3

- 1週目：保育者の話をよく聞き、避難しようとする（養護）
- 2週目：汗を拭いたり水分補給をしたりしながら心地よく過ごそうとする（養護）
- 3週目：十五夜に興味を持ち、想像を膨らませながら製作を楽しむ（教育）
- 4週目：音楽に合わせて歌ったり身体を動かすことを楽しむ（教育）

その4

- 1週目：友達と一緒に過ごす喜びを感じ、安定して過ごす（養護）
- 2週目：保育者や友達と思いを伝え合うことを楽しむ（教育）
- 3週目：気温や活動に合わせて衣服調節をしようとする（養護）
- 4週目：運動会に期待を持ち、練習に参加する（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- プール遊びの流れを覚え、支度や後片付けを自分で行おうとする子どもが増えてきた。
- 率先しておもちゃをきちんと片付けたり服を丁寧に畳んだりしようとし、身の回りのものを大切にしようとする姿が見られるようになってきている。
- 食事の際にはマナーを守って食べ進める子どもも多いが、友達とのおしゃべりが楽しくなりなかなか食事が進まない子どももいる。また、嫌いなものはなかなか気が進まない様子が見られる子どももいる。
- 保育者に声をかけられながら水分補給をしたり休息をとったりし、少しずつ暑い日の過ごし方を覚えてきている。
- 夏祭りに期待を持ち、「あと〇回寝たら夏祭りだ」と言葉にしていた。当日は緊張もすぐに和らぎ楽しく参加する様子が見られた。
- 野菜の収穫やクッキングに意欲的な姿が見られ、食べることは苦手な子も野菜に触れたり、自分で作った料理は食べようとする姿が見られた。
- 夏の感染症や肌疾患に罹患する子がいた。欠席が長引くことはなかったが、プール遊びが出来ない日が続くことがあった。
- 気が合う友達が休みだと不安そうにしたり、「○○ちゃんは？」と保育者に聞く姿が見られた。

教育（遊び）

- プール遊びやどろんこ遊びなど、夏ならではの遊びを思いっきり楽しんでいる。
- 経験したことを自分なりの言葉でゆっくりとでも表現し、最後まで聞いてもらえると嬉しそうにする姿があった。相手の話は落ち着いて聞けないこともあったが、少しずつ聞こうとする姿勢も見られるようになってきている。
- セミの殻を見つけると興味津々に触る子どもが多く、夏の生き物に親しみをもち始めていた。興味を強く持っている子どもは図鑑で調べたり捕まえて観察したりする姿がある。
- 今まであまり関わったことのない友達とも遊びを通して関わりを持ち、親しんでいる子どももいたが、新しい友達になかなか心を開けずに距離を置く子どももいた。
- 絵本や紙芝居の読み聞かせの時間を喜び、それぞれイメージを膨らませて楽しそうにする姿が見られた。長いお話だと集中力が切れる子どももいた。
- 行事や休み中に経験したことを遊びに取り入れている様子が見られる。
- 友達の様子に感化されて、いろいろな遊びに挑戦しようとする。
- 夏祭りの練習では異年齢児に対し「可愛いね」「凄いね」という言葉が聞かれ、親しみや憧れの気持ちに繋がっていた。
- プール遊びの約束事を守ろうとしたり、守っていない友達に伝えようとする。
- 暑さから戸外に出れない日も、室内で運動遊びをしたり氷やスライム等の感触遊びを楽しんでいた。

活動内容（5領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活：**汗をかいた際には着替えをしたり水分補給をしたりしようとする。（健康）
環：水分補給や休息をとるタイミングを忘れてしまう子どももいるため、必要に応じて声をかけていく。体調に変化が見られた場合には、ゆっくり過ごせる時間がとれるようにする。
- **活：**食事の際にはマナーを守り、友達と楽しい雰囲気の中で食べ進める。（健康・人間関係）
環：好き嫌いがある子どもには無理強いをしすぎず、少しずつ自分で食べてみようとする気持ちが持てるように援助や声かけを行っていく。
- **活：**園での生活リズムを整え、元気に過ごす。（健康）
環：毎日の用意や片付けを同じ手順で行えるようにやりやすい環境を整えておき、1日の流れも子どもが分かりやすいように視覚化して伝え、子ども自身がリズムをもって生活できるように日々援助を続けていく。
- **活：**避難訓練を通して、非常時にどのように行動するかを知る。（健康）
環：避難訓練の際には前もってどうして行うのかなどの理由を伝え、子どもが真剣に参加できるようにする。また、大切な訓練だということが伝わるように工夫しながら伝えていく。
- **活：**自分や他者の安全を意識して行動する。（健康・人間関係）
環：物を狭い場所では振り回さない、こぼれる物を持って移動するときは後ろに気を付けるなど、それぞれの場面に応じての方法を伝えていく。
- **活：**友達とのやり取りの中で相手の気持ちも聞き、その気持ちに気付く。（人間関係・言葉）
環：自分の話や気持ちに意識が偏っている時は、保育者が間に入って相手の気持ちも分かりやすく丁寧に伝えていく。
- **活：**遊びの時は身体を元気に動かし、午睡時は身体を休め、活動と休息のバランスをとる。（健康）
環：午睡前は少し落ち着いて遊ぶ時間を取るなど、動から静へ切り替えられるように工夫をする。また、身体を休める大切さを都度伝えていく。
- **活：**友達との再会を喜び、一緒に過ごすことを喜ぶ。（人間関係）
環：久しぶりに友達と会えた喜びに共感し、楽しく園生活を送れるようにする。又、久しぶりの登園で遊びに入っていけない時は無理なく援助していく。
- **活：**当番活動や係活動に期待を持ち、意欲的に取り組む。（人間関係・環境）
環：様子に応じて当番がする内容について丁寧に伝えながら、安心して取り組めるようにする。感謝の気持ちを保育者が率先して伝えることで、子ども同士でも「ありがとう」と言葉にし合える環境を作る。
- **活：**食べ物と身体の健康の関係について知る。（健康）
環：三食食品群を分かりやすいイラストと表で示し、給食の献立と照らし合わせながら体と食べ物について知らせ、食べる意欲に繋げる。
- **活：**防災頭巾の役割を知り、自分で被ってみようとする。（健康）
環：防災頭巾の役割について一緒に考え、正しく被ろうとする意識に繋げる。被られたことを大いに認めて自分の命を守る行動に自信を持てるようにする。
- **活：**友達と一緒に共有の物を片付け、心地よさを味わう。（環境）
環：身の回りが整っていることを心地良いと感じられるよう働きかける。皆が過ごしやすいルールを子ども達と決め、クラス全体で意識できるようにする。
- **活：**防災の日や十五夜、秋分の日等の9月の行事に興味を持つ。（環境）
環：一つ一つの行事について絵本や写真、歌などで伝えていく。また、経験したことや疑問を話せるような時間を設け、共感したり一緒に調べていく。

- **活**：残暑を心地よく乗り越えられるようにする。（健康）
環：夏の暑さが残る時期、引き続きシャワーで汗を流したり、こまめな水分補給や休息を取り入れていく。又、朝夕と日中の気温差に留意しながら、衣服調節や室温調節を行っていく。

教育（遊び）

- **活**：遊びを通して、身近な人との関わる楽しさを味わう。（人間関係）
環：保育者自ら遊び人との関わり方や遊び方を見せ、子どもが真似をして人とのやりとりを学べるようにする。
- **活**：季節の移り変わりに気づき、身近な自然を取り入れながら遊ぶことを楽しむ。（環境）
環：自然の中で子どもが気づいたことを調べられるよう、秋の図鑑なども早めに準備しておく。
- **活**：経験したことや楽しかったことを自分なりの言葉で表現し、保育者や友達に受け止めてもらう充実感を味わう。（言葉・人間関係）
環：子どもが経験したことや楽しかったことをゆっくり話せるよう、みんなで話す時間を設けるなど環境を作っていく。集中力が続きにくい子どももいるため、時間設定をして数人ずつ発表するなど工夫をする。また、友達の話聞く大切さも伝えていく。
- **活**：運動遊びやダンスなどを楽しみ、運動会に向けて期待感を持つ。（環境・表現）
環：運動会の練習をどんどん進めるだけでなく、遊びを取り入れながら楽しく取り組めるように工夫する。また、子どもが期待感を持って取り組めるように褒めたり一緒に練習したりして楽しい雰囲気を作るようにする。
- **活**：敬老の日を知り、プレゼントを丁寧に製作する。（環境・表現）
環：ハサミなどまだうまく使えない子どももいる。プレゼント製作の際には、一人ひとりの様子をよく把握しながら援助を行い、怪我のないように気を付ける。
- **活**：簡単なルールを守りながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。（人間関係）
環：自分の思いを強引でも通したい子や自分の意見を言えない子など、それぞれに合わせて援助をし、適切なタイミングで介入できるように観察しておく。
- **活**：大きくなってきたバッタや9月に入って見られる生き物に気づき、季節の変わり目を感じる。（環境）
環：新しく出た生き物を一緒に調べたり、写真で撮っておくなどし、季節の経過とリンクできるように用意しておく。
- **活**：今まで体験・経験したことから、興味関心のあることを再現して遊ぶ。（人間関係・表現）
環：表現ができるよう、経験してきたことの写真や、表現物となる廃材など、分量を用意する。
- **活**：音楽に合わせて身体を動かしたり、歌を歌って楽しむ。（表現）
環：今子ども達が好きな音楽や、保育者が伝えたい音楽など、様々な曲を流して子どもたちが多様な音楽を味わえるようにする。
- **活**：様々な運動遊びをする中で体を動かす楽しさや自信を感じる。（健康・環境）
環：運動用具の組み合わせ方を変えたり、新しい運動遊びを提案し、挑戦意欲や自信に繋がるよう援助していく。
- **活**：友達の姿を見て、遊びに加わったり新しいことに挑戦しようとする。（人間関係・環境）
環：友達の遊びの様子を知らせて、子ども達同士で刺激し合える環境を作る。挑戦しようとする姿を見守り、充実感や達成感を感じられるように関わる。
- **活**：異年齢児との関わりを楽しみ、年下の子への思いやりや年長児に対する憧れの気持ちが育つ。（人間関係）
環：一緒に散歩に出かけたり、遊んだり、食事をする時間を設ける。されて嬉しかったことや悲しかったこと、凄いなと思ったこと等を考える時間を設けて、思いやる気持ちや憧れる気持ちを育てていく。
- **活**：十五夜の由来を聞いたり製作を通して秋空への興味やイメージを膨らませたりする。（環境・表現）

環：十五夜に関する絵本や写真などを種類豊富に用意しておき、イメージを膨らませられるようにする。月の写真を見て感じたことを友達と共有する時間を設けて、友達の違うイメージに触れる楽しさに繋げる。

- **活：**友達とイメージを伝え合って遊ぶことを楽しむ。（人間関係）
環：イメージを共有する楽しさに共感したり、互いのイメージがすれ違っている時はそれぞれの思いを代弁しながら同じイメージに近づくように援助する。
- **活：**散歩に出かけることを喜び、交通ルールを守って歩く。（環境）
環：交通ルールがある理由を伝えながら1つ1つのルールを確認していく。守ろうとする姿を大いに認めながら、自信や命を守る行動に繋げる。
- **活：**身近な素材を使ってイメージを形にする楽しさや達成感を味わう。（環境・表現）
環：広告紙、段ボール、トレイ等を自由に使えるようにしておく。ハサミやテープを使う時は必ず保育者が側について安全に活動出来るようにする。完成した物を認めたり飾ったりすることで創造力や満足感に繋げる。
- **活：**友達の気持ちに気付き、自分の気持ちに折り合いをつけたり我慢しようとする。（人間関係）
環：「○○したかったけど譲ってくれたんだね。ありがとう。」と保育者が温かく認め、気持ちの育ちに繋げる。様子に応じて互いの気持ちを代弁し、気持ちの整理をしてあげることで気持ちの切り替えに繋げていく。
- **活：**運動会に向けて、友達と一緒に競ったり披露したりすることを楽しむ。（人間関係・環境）
環：運動会について動画や写真を使って伝え、イメージに繋げる。かけっこやダンス、障害物競走等様々な活動を取り入れ、友達と一緒に取り組む楽しさを感じられるよう関わっていく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 涼しい日もあるがまだまだ残暑の残る時期。水分補給や休息を忘れないように過ごせるよう声をかけていく。
- 運動会の練習の際には、安全面に気をつけながら進められるように事前に環境をしっかりと整えておく。
- 地震、火事、不審者等様々な災害を想定した対応について全職員で共有したり、見直したりする。
- 一人ひとりの様子に合わせゆったりと遊べる空間や休息・睡眠を取り入れて、無理のない園生活を送れるようにする。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- 野菜スタンプできのこ／敬老の日ハガキ製作／紙コップで作る、秋の動物さん

歌

- むしのこえ／ななつのこ／とんぼのめがね

絵本

- だんまり こおろぎ／うさぎのくに／ぼく、お月さまとはなしたよ

手遊び

- こんこんクシャン／おいもころころ／3びきのこぶた

室内室外遊び

- ドッジボール（中当て）／葉っぱを合わせるゲーム／トカゲ・カナヘビ・ヤモリの捕まえ方

行事

- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定
- 防災の日（9/1）
- 救急の日（9/9）
- 敬老の日（9/15）
- 秋分の日（9/23）

食育

- 旬の食べ物を知り、食や料理への関心を持つ。
- 好き嫌いをせずに、苦手なものも食べてみようとする。
- 食具を使い分けながら美味しく食べる。
- 食器の並べ方や座る姿勢等のマナーを意識する。

異年齢保育

- 異年齢の友だちとの散歩では、焦らず歩けるよう声をかけながら、歩調を合わせて見守る。
- 年下の友だちとの砂遊びの様子を見守り、道具の貸し借りなどのやり取りを仲立ちする。
- 年下の友だちの身支度を手助けしようとする姿を大いに認め、自信につなげる。
- 年上の友だちとのままごとを見守りながら、様子に応じて加わり、やり取りが深まるよう関わる。
- 虫や乗り物など、同じ興味を持つ友だちとの関わりを見守り、好きなものを共有する喜びに共感する。

職員間の連携

- 徐々に気温が下がる時期のため、水遊び終了の時期の目安について話し合う。
- 園庭やホールを全クラスが平等に使用できるよう、希望日時を出し合い調整する。
- 久しぶりの散歩となるため、道中は職員間で声をかけ合い、安全に歩けるよう配慮する。
- 運動会に必要な準備物について話し合い、職員間で役割分担をしながら進めていく。
- 避難訓練後の気づきを園全体で共有し、対策を講じて安全な避難行動につなげる。

地域と家庭との連携

- 生活リズムを整えてスムーズに2学期の生活を始めていけるよう、家庭での過ごし方も配慮をお願いする。

- 敬老の日のプレゼントで家庭で協力してもらうことを知らせ、協力してもらえるように前もって伝えていく。
- 避難訓練では、非常事態を想定して家庭とも協力して行えるようにしていく。
- 友達との関わりや興味があること、挑戦していること等を保護者と共有していく。
- 季節の変わり目を健康に過ごせるように調節しやすい衣服を用意してもらう。
- 消防署と連携を図り、合同で防災訓練を行う。

長時間保育の配慮

- 子どもからの遊びの誘いに丁寧に応じ、ゆったりとやり取りを楽しみながら、安心感を育む。
- 夕方は、子どもの様子や気候に応じて園庭遊びを取り入れ、気分転換を図る。
- 涼しい室内でも熱中症の恐れがあるため、こまめな水分補給を促す。
- 身支度や荷物の確認が習慣となるよう、子どもと一緒にしながら、できたことを認めていく。
- 夏の疲れが出やすい時期のため、一人ひとりの様子をよく観察し、必要に応じて休息を促す。

自己評価

- 汗をかいた際には、子どもが率先して着替えをしたり水分補給をしたりしようとしていたか。
- 食事の際にはマナーを守り、楽しく食べ進めることができたか。
- 避難訓練を通して、非常時の身の守り方やどのように行動するかを知ることができたか。
- 遊びを通して、身近にいるいろんな人との関わりを楽しめたか。
- 季節の移り変わりに気づき、自然を取り入れながら遊ぶことを楽しんでいたか。
- 経験したことや楽しかったことを自分なりの言葉で表現しようとしていたか。
- 保育者や友達に気持ちを受け止めてもらう充実感を感じられたか。
- 運動遊びやダンスなどの活動に喜んで参加し、運動会に向けて期待が膨らんでいるか。
- 敬老の日を知り、プレゼントを丁寧に製作できていたか。
- 夏の疲れや休み明けの疲れに配慮し、無理なく生活出来るようにしたか。
- 一人ひとりの伝えたい思いを受け止め、安定して過ごせるようにしたか。
- 秋の行事に興味を持てるような働きかけをしたか。
- 食べ物と体の関係について知り、体への関心や食事に対する意欲を高められたか。
- 体を動かす楽しさや自信を感じられるように援助したか。
- 好きな遊びや自分のイメージを表現することを楽しめていたか。
- 子どもが挑戦したいと思える環境を作れたか。
- 送迎時には子どもの様子を丁寧に伝えたり、保護者の悩みに寄り添ったか。
- 園全体で災害時の対応について共有したり、現在の状況に合わせた見直しを行ったか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー&ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

